

第12回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 平成31年3月27日(水) 午後2時より午後4時まで

協議内容

- ・平成30年度機関等代表者会議について事務局より報告がある。詳細は資料を参照。
- ・若年性認知症の当事者であるK氏より、自身が認知症であると分かるまでの経緯や、病院受診につながったきっかけ、自身ができることとできないこと、どんな助けがあれば助かるかなどを話していただく。次年度からは、「誰もが生き活きと輝くまちづくり」というテーマの中で、企画運営会議で若年性認知症をはじめ、本人の活動支援にも取り組んでいくことを確認。
- ・平成30年度第2回東大阪市認知症初期集中支援チーム検討委員会について、能勢委員より資料に沿って認知症初期集中支援推進事業の取り組み状況の説明と、地域包括支援センターへのアンケートの結果の説明、認知症施策についてのまとめの説明がある。認知症を発症してから介護保険制度につながるまでの空白期間を埋めるための取り組みとして、当事者が集ってほっとできる場、当事者が主体となって活躍できる場の創出に取り組んでいけたらと考えている。次年度からは認知症施策について検討するワーキンググループの創設にも取り組みたいと考えている。先行事例として、門真市の取り組みである「ゆめ伴プロジェクト」の紹介がある。詳細は資料を参照。

各機関の報告

2 各選出機関の活動状況について

- ・地域包括支援センター 地域包括支援センター連絡調整会議で出た意見の報告。
各地域包括支援センターは地域貢献事業を独自に行っており、地域包括支援センター業務に関する市の評価基準の達成は負担が大きく職員が辞めていくという意見が出ている。
- ・通所介護・通所リハビリテーション事業者部会 3/25 部会 研修「認知症の方の捉え方」
70名程度参加 好評
- ・介護支援専門員連絡会 3/16 多職種連携研修会全体会出席 連携ツールのHP掲載を市と検討中
4/13 総会 研修「チームケア実践に向けて～コーチングより、より良い多職種との関係づくりを考える～」講師 岩山仁氏
- ・布施医師会 3/5 第3回おれんじナース研修会開催 参加者21名。今年度おれんじナース15名登録
3/9 第5回病診連携懇話会・病病連携連絡会開催 1部34名、2部13名参加。
3/16 多職種連携研修会全体会出席 参加者223名
認知症初期集中支援チーム 77件エントリー 終了36件 チーム員会議月2回
- ・河内医師会 1/28 地域包括支援センターみのわの里主催 高齢者生活支援等会議出席
認知症安心・見守り・声かけ訓練を体験
2/19 大阪府認知症サポート医フォローアップ研修出席
2/20 大阪府認知症初期集中支援チームの研修会 出席
- ・枚岡医師会 高齢者生活支援等会議に出席 各校区でマップ作成の遅れ、自治会加入率の低さ、とじこもり高齢者への声掛け方法、民生委員の見守り訪問の訪問拒否など課題が出ている。
3/2 緩和ケアフォーラム開催 参加者233名
「どうせ死ぬのになぜ生きるのかー精神科医の答えは仏教にありー」
- ・東大阪医療センター 3/7 研修「終末期の家族の意思決定支援」参加者57名
3/16 多職種連携研修会全体会に出席
3/26 研修「在宅における看取りと多職種連携」参加者50名
- ・社会福祉協議会 振り込め詐欺等被害防止機器 平成31年4月より受付開始予定 すでに100件以上の申込受付済み(定数は例年通りであれば200台)
- ・福祉事務所 3/25 第5回養護老人ホーム入所判定委員会 入所案件なく開催なし

- ・地域包括ケア推進課 3/1 サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームの職員対象
養介護施設従事者による高齢者虐待防止研修 116 施設中 86 施設参加
参加率 74.8%